

重点課題(事業概要) 令和5年度上期

①利用しやすさ(利便性)の向上

- * 開館時間、休館日の見直しの検討

→継続

- * 館外サービスの充実

・ブックポストの増設や公共施設・事業所と連携した受け取り・返却サービスの検討

→継続 和戸地区検討 スーパーマルヤから不可と回答があった。カスミのポストは設置待ち

- * 資料検索、リクエスト、貸出サービス等の改善・充実→継続

②レファレンスサービスの充実と利用促進

- * 相談窓口(スタッフ)サービスの充実と利用促進→継続

③利用者ニーズ・地域課題に対応した資料収集

- * 多様な情報資料の蓄積と提供

・他の公共図書館、大学図書館との連携と相互協力の推進→継続

・デジタル化郷土資料を拡大・充実し、地域の情報発信力を高める

→郷土資料館と連携し検討中

・電子書籍(TRC-DL)の充実と利用促進→継続

④高齢者・障がい者向けサービスの充実

- * 高齢者向けサービスの充実を検討する

・よみうり回想サロンの実施

→10月に認知症合同展の催しとして実施、32名参加

・バリアフリー映画会の実施

→10月実施、27名参加

- * 様々な障がいに対応したサービスの充実を検討する→継続

- * 来館が困難な利用者向けサービスの充実を検討する→継続

・自治会、地域交流サロン、福祉施設への団体貸出を検討する→継続

⑤子供の読書活動の推進と小中学校との連携

- * ボランティアとの連携による行事の継続開催

・ボランティアグループと協働による「おはなし会」「紙芝居」「映画会」等行事の実施

→毎月実施

・「すいようえほんの会」の実施

→毎月実施

- * 乳幼児を連れた保護者向けサービスの推進

・「赤ちゃんタイム」の実施、子育て支援の一環として、親子で気兼ねなく図書館で過ごせる時間を提供する

→毎週実施

・講座「生きる力を育てるために～絵本のある子育て」の実施

→下期に実施 調整中

・「にちようえほんの会」の実施

→毎月実施

- * 児童や青少年の読書活動の促進、図書館利用につながる行事の継続開催
 - ・小学生の読書推進活動の一環として、単位制の司書講座を開設し、全単位取得者には「子ども司書」認定証を授与する
 - 下期に予定
 - ・ビブリオ・トークの実施
 - 検討中
 - ・「ぬいぐるみおとまり会」の実施
 - 10月に実施 30名定員の参加
 - ・夏休み期間中「科学あそび教室」、「おはなし工作会」、「読書感想文教室」等行事の実施
 - 定員制とし、7月、8月に実施、科学あそび教室 26名参加、おはなし工作会 14名参加、読書感想文教室 19名参加、
 - 8月こわ〜いおはなし会実施、60名参加
- * 小中学校との連携(支援)
 - ・新小学校1年生全員に、「本の紹介」、「図書室利用のオリエンテーション」を実施し、好きな絵本をプレゼントする(らんどせるブック)、同時に希望者に「図書館利用カード」「読書通帳」を発行する
 - 実施した。読書通帳は 364冊渡した。
 - ・オンライン化した小・中学校図書管理により学校連携を更に強化する→継続
 - ・図書館システムによる蔵書管理の支援を行う→継続
 - ・読書統計資料活用により児童・生徒の読書指導を支援する→継続
 - ・学校図書ボランティアとの協働により、児童・生徒の読書活動の推進を図る→継続
 - ・第12回「宮代町図書館を使った調べる学習コンクール」の事務局としてコンクールの充実を図る
 - 第12回を実施した。132作品 134名参加。
 - ・地域の小学校、中・高等学校からの社会体験研修を積極的に受け入れる
 - 6月に春日部特別支援学校宮代分校の職場体験 1名受け入れた。アバンティさんから1名を受け入れた。
 - 6月百小まちたんけん受け入れた
 - ・町内小・中学校にデジタル郷土資料を授業用資料として提供する
 - 郷土資料館と連携し検討中
 - ・町内小・中学校に電子書籍(図鑑等)を授業用資料として提供する
 - 検討中
- * 地域や他施設との連携
 - 食育展示(保健センター、町環境資源課、図書館)を実施し関連本(食品ロスなど)の展示貸出
 - 認知症合同展(図書館、町健康介護課、社協、日本工業大学)を実施した。パネル展示、関連本の展示貸出、特別上映会(95名参加)、回想サロン(32名参加)をおこなった。
 - ・「子育てひろば」、国納保育園への団体貸出の実施
 - 子育てひろば、国納保育園、みやしろ保育園、学童(3クラブ 12クラス)、教育支援センターみらいへ実施
 - ・自治会の祭り等へ出張読み聞かせを実施

→検討中・・・情報を入手しニーズを探る

⑥地域に根差し、住民、利用者とともに育む図書館運営

* 専門的職員の配置と育成

・スタッフの適正配置と研修→継続

* 住民や利用者の交流と図書館運営の参画

・「ライブラリーシアター」、「落語鑑賞会」の実施

→ライブラリーシアターは毎月実施。講談鑑賞会は9月実施、8名参加。

・読書会の実施。蓄音機やCDを利用した音楽会の実施

→レコード持ち寄り鑑賞会は11月に実施、22名参加

・日本工業大学、東洋大学、東武動物公園等や地域との連携による講演会等の実施

→日本工業大学特別講演会9月実施、27名参加

・郷土資料館との連携によるデジタル郷土資料を活用した「郷土講演会」の実施

→下期(令和6年2月23日で調整中)

・ナクソス・ミュージック・ライブラリーを利用したクラシック鑑賞会の月例実施

→毎月実施

・国立国会図書館「歴史的音源サービス」を利用した落語・オペラ等の鑑賞会の実施

→下期(令和6年1月実施予定)

・大人のための16mm映画会の実施

→下期(11月に実施予定)

・大人のための絵本の会を実施

→調整中

* 情報の公開と発信の強化

・広報紙「図書館だより」、「こどもの部屋」の充実→継続

・ホームページはスマホ・タブレットに対応した改修を実施

→昨年度実施済み・・・充実を図る

・X(旧ツイッター)等による情報発信を検討

→昨年度実施済み・・・充実を図る

⑦施設の適切な維持改善と快適な利用環境づくり

* 施設、設備の改修→継続 とびだし注意の看板設置

・老朽化した施設、設備の修繕

→(図)ホール懸垂幕不具合改修完了。

(町)ホール非常口ヒサシの改修完了。(町)駐輪場のへこみ改修、駐輪場スロープ設置完了

(町)第1駐車場ブロックのガタツキの修繕を予定

(図)2F空調機ベルト2台分交換

・駐車場に関する課題を検討する

→継続

* 既存施設の活用、施設空き時間の有効活用

・夏休み・春休み・試験期間に研修室を学習室として開放する

→実施した

- ・「講師控室」「朗読室」を授乳室として提供する→給湯室に扉を設置し利用しやすくすることを検討
- * 閲覧、学習スペースの充実
- ・レイアウトの検討→継続